人の元気を、
まちの元気につなげる

特定非営利活動法人　八幡浜元気プロジェクト

活動報告書

YAWATAHAMA
GENKI PROJECT

元気なまちをつくる。

私たちは、「元気」とは何かを
日々の活動で突き詰めてきました。
出会った答えは、「人」。
そこに住む人が、笑顔で輝きながら
活き活きと暮らす･･･
人が元気でいてこそ、
まちは元気でいられる。

私たちは、

人の元気を、まちの元気につなげる

活動を続けます

つなぎ、育む。
「間」に立てる組織へ

代表理事
濵田規史

プロフィール

1983（昭和58）年、愛媛県八幡浜市向灘のみかん農家の長男（４人兄弟）として生まれる。八幡浜高校では、情報処理科に所属。偶然出会った部活動：商業研究部の活動にのめり込み、地域の良さや商店街の方々の温かさを感じる。商業研究部では、高校生のお店「ＡＫＩＮＤ（現在は「Ａ★ＫＩＮＤ」）を商店街に開店。山口大学では、経済学部経済学科に所属。「吉村ゼミ」（地域経済論）を選択。その他、市内道場門前商店街にて「地域通貨どーも」では、実行委員長を務める。山口の起業家やその支援者の方と交流が図られ、維新発祥の地山口の息吹を感じ、影響を受ける。
地元に帰り、某金融機関に就職。ボランティア（ＮＰＯ）の活動をして見えてきた「お金」（経済的視点）の必要性。経済の血液となりうる「お金」を、地域で「循環」させたいと考えるようになる。現在は、「二枚目の名刺」にこだわり、本業の傍ら代表理事を務めている。

９年前の８月、温泉の露天風呂で「まち」について語り合った二人の夜。
誰もがここで、何かが生まれるとも思ってはいませんでした。

いつもだったら愚痴で終わっていた「まちへの思い」も、この時ばかりは、現実味を帯びた話に膨らみました。

あれから。
私たちは、２６年６月、ＮＰＯ法人化。
「住民の皆さんの参加」と「地域の資源」をフルに活用しながら、様々な活動を続けてきました。
特に、２４年度から取り組んでいる「中間支援」の活動は、私たちが積み重ねてきたノウハウや人脈を活用し、側面的に「住民のみなさんの活動」（地域活動）を応援し、活発化させていこうとスタートさせたものです。

幸いなことに、２５年からは、八幡浜市からの「みなと交流館等指定管理業務」において「中間支援業務」を担わせていただくことになり、ＹＧＰ本体の事業と連動させながら、より多くの人を「つなぎ、育む」活動を行っています。

八幡浜活性化の一翼を担わせていただいていることに感謝を申し上げるとともに、更なる活動の深化を進めていく所存です。

私たちは、これからも「人の元気を、まちの元気につなげる」活動を続けて参ります。引き続き、ご参加・ご支援のほど、よろしくお願いします。

INDEX

YGP
NPO法人 八幡浜元気プロジェクト
活動報告書

2･･･代表理事挨拶
4･･･私たちの考え方
5･･･つながり事業
6･･･つながり事業の内容
7･･･まち育て事業
8･･･まち育て事業の内容
9･･･地域を盛り上げる活動
10･･･地域を盛り上げる活動の内容
11･･･取り組みを広げる
12･･･プロジェクト応援制度他
13･･･中間支援で生まれたプロジェクト
14･･･これまでの軌跡とこれから
16･･･強くしなやかな組織を目指して
18･･･寄付・パートナー
19･･･メンバー
20･･･団体概要

あるものを活かして、ないものへ育てる

新しいものをつくるのではない。
地域に「あるもの」を、
様々な角度から“活かし”、“育てる”ことが必要だと考えています。

私たちの考え方

地域にある凡・非凡・廃・負の資源を活用し、住民の参加促進を図りながら事業を行っています。
地域活動参加の「きっかけ」づくりや、地域資源の「磨き上げ」などを行うことで、地域活性化が成し遂げられると、私たちは考えています。

地域活性化

【手段】
イベント
講座
セミナー
プログラム

**“人の元気を
まちの元気つなげる”**

**住民
参加**

**地域
資源
活用**

**“あるものを活かして、
ないものへ育てる”**

1　「人」を元気にする地域活動を活発化させる！

2　地域資源をキャピタライズして、新しい物・価値をつくる！

つながり事業

つながり事業は、「地域活動参加のきっかけ」や「他団体との交流」をつくる事業です。
オチャップやクリーンプロジェクトを通じて、つながりを紡ぎ、育てていくことに主眼を置いています。ここで生まれた「つながり」や「アイデア」は、「まち育て事業」へ橋渡しされていきます。

気づき きっかけ → プロジェクト / 他団体への活動 / 自分で起こす

鈴木　磨美
副代表理事　つながり事業責任者

YGPを立ち上げて９年、ほんとたくさんの出会いがあり、その出会いからどんどんつながっていくのを実感してきました。多くの方々に支えられ今のYGPがあるのです。今まで経験してきた出会いやつながりをこれからもたくさんの方に経験していただく為、そのきっかけ作りを私自身していけたらと思います。
八幡浜が大好き！八幡浜を元気にしたい！当初から変わらないこの気持ちを大切に今後もYGPらしい活動をしていきたいと思いますので、引き続き、ご指導ご協力よろしくお願いします！まだまだたくさんの素敵な笑顔に出会えますように！！

オチャップ　つながり事業

会議室ではない面白い場所で、まちについて気軽に語り合うワークショップ「オチャップ」。「お茶会」と「ワークショップ」を掛け合わした造語です。２ヶ月に１回開催中。

異空間 ＋ お茶 ＝ アイデア

普段とは違う場所でお茶を飲み、交流することで、新しいアイデアが生まれます。もちろん、この場が新たな人に出会う交流の場にもなっています。

オチャップボックス

「オチャップ」で出た意見は、毎回「オチャップボックス」というＹＧＰ独自のデータベースに蓄積中。
実は、このアイデアが活動の種になっています。

お寺を見学したのは初めて。心地よい空気が流れていて、すがすがしい気分になった。実際に足を運ぶことで身近に感じることができた。子どもを含め、市民がざっくばらんに顔を合わせられる場になったらいいですね！（参加者）

クリーンプロジェクト　つながり事業

誰でも気軽にできる清掃活動。まちをきれいにしていくことはもちろん、「交流」も大切にしている活動です。２ヶ月に１回開催中。

気軽な参加

参加障壁の低い清掃活動

きっかけ　参加

新たな地域活動

原点の活動

活動１年目のＹＧＰの活動は、週１回の清掃活動。その中で出会った人から、次なる活動の「きっかけ」をいただきました。私たちは、誰でも参加できる清掃活動を通じて、多くの人に「地域活動」に参加してもらいたいと考えています。

Knockn Rollえひめ実行委員会の起ち上げ支援　つながり事業

地方では少子高齢化をはじめ、課題が山積み。年々深刻化する課題に対して、愛媛の若者が主体的に行動することを目的にスタートしたのがKnockn Rollえひめ。私たちYGPの提案・呼びかけに対し、東中南予の若者が集まり、実行委員会を組織。プロブロガー・イケダハヤト氏とまちづくり支援えひめ代表の前田眞氏を総合アドバイザーに迎えてイベントを開催しました。
◆8/16～8/17　大洲青少年交流の家にて70名が参加。
　234のプロジェクトが誕生し、８つのプロジェクトチームが結成された。

Knockn Rollとは･･･Knock on（社会参加の扉をノックする、社会へ刺激を与える）とRole（社会参加・地域課題解決のロール・モデルになる、模範・手本）、Roll（回転していく、巻き込んでいく）を合わせた造語です。

地域課題の解決　**若者の社会参加**　**第二の名刺獲得**

まち育て事業

まちを元気にするプロジェクトを創る事業です。
まちに眠る資源を活用し、住民の皆さんが参画しやすいプロジェクトに組み立て、実践していくことで、地域にアウトカムの成果を生み出していきます。
また、地域活動を活発化させていくために、既存地域活動団体さんの底上げや新たな活動起ち上げの支援などを行っています。

プロジェクト

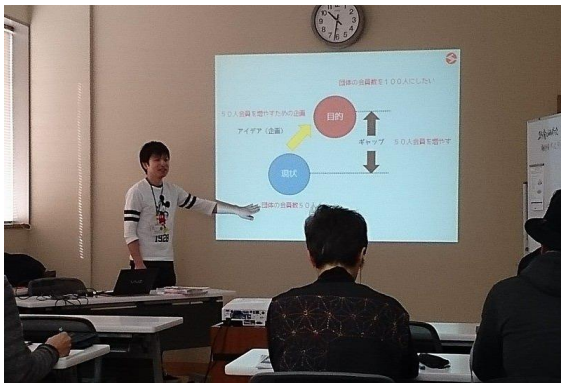
中間支援事業

フレキシブルに
使い分けています

眞田井　良子
理事　まち育て事業責任者

「まち育て事業」は、ＹＧＰのコーポレートスローガン「人の元気を、まちの元気につなげる」ということと、「あるものを活かして　ないものへ育てる」という大きな二本柱のもと、幅広い年齢層の市民参加を大切にしながら行います！プロジェクトや中間支援を実施することにより、運営者・参加者がともに地域への誇りや愛着を育んでいけるようにしていきたいです！
私たちと一緒に「まち」を「育て」る活動に参加してみませんか？

講座等の運営サポート　中間支援



みなと交流館で開催される講座への講師派遣や中間支援事業の運営協力を行っています。交流館の職員とタッグを組み、地域活動団体さんの支援活動を連携して行っています。

ＹＧＰの中間支援事業 → リソースの提供 / 協力 → 八幡浜 みなと

活動拠点である「みなと交流館」に、メンバー２名を配置。ＹＧＰ本体の事業と連携しながら、まちの元気づくりに取り組んでいます。

＜開催した講座の例＞

① 強みを発見する講座　② 広報力ＵＰ講座
③ プレゼン講座　④ 地域資源発掘ワークショップ
⑤ まち育てワークショップ
⑥ ドネーションパーティ　⑦ まち育てプレゼンテーション
⑧ ＮＰＯ法人会計講座

地域活動団体ポータル「TUMUGU（つむぐ）」　中間支援

個々の団体情報 → **ＴＵＭＵＧＵ** → 住民等への告知・情報発信

「ＴＵＭＵＧＵ」をみなと交流館と共同運営。登録団体の基本情報やブログ・予定などを掲載。今後、コラム等も拡充予定です。

８８プロジェクト　プロジェクト

いらなくなったかまぼこ板を集めて「ＢＯＣＯ」（ボコ）という積み木を商品化するプロジェクト。付随して、「ＢＯＣＯ本」（かまぼこの本）や「ＢＯＣＯタワー」（積み重ねて高さを競うゲーム）、「かまワンちゃん」（八幡浜のサブゆるキャラ）のＬＩＮＥスタンプ化等を企画中。練り物産業を通じて、まちの活性化に資するプロジェクト。

スマイルプロジェクト　プロジェクト

地域の「人」にスポットを当てたＷＥＢマガジンをつくるプロジェクト。
第4号まで発行してきた「八幡浜笑人」をベースに、ＷＥＢ版の「笑人」を創刊する準備を進めています。
松山チーム・八幡浜チームごとに、半径１㎞の笑顔の素敵な人に取材し、編集等作業を行っています。
本プロジェクトは、表に出てきていない身近な人に「光を当て」、「魅せていく」ことを大事にしています。

地域を盛り上げる活動

地域のお祭りやイベントに対して、「ＹＧＰの考え方」を注入し、盛り上げていきます。
単独の活動にならないよう、いろいろな人や団体を巻き込みながら活動しています。

■ ４つの考え方

1　地域に目を向ける「サプライズ」（発見・驚き）

2　地域活動に参加する「チャンス」（きっかけ）

3　地域活動の連携・協働を高める「コラボレーション」（協働）

4　地域への自負・愛着を高める「シビックプライド」（郷土愛）

“ＹＧＰらしさ”の追求

VOICE

●予想以上楽しむことが出来ました！ こちらこそありがとうございました。 楽しみにしてます！（高校生参加者）
●はるばる新居浜から来た甲斐がありました。来年も楽しみ！（市外参加者）
●担ぎ方にはコツがあるんですよ。参加者に合わせたチューニング。次もやりましょう！（市外参加者）

ＯＭＩＫＯＳＩ盛り上げ隊

「OMIKOSI盛り上げ隊」として活動した秋祭り。八幡神社の御神輿を、高校生を中心とした参加者を集め、車輪を付けずに担いで市内を練り歩きました。
新たなかけ声の下、参加者がひとつとなり、まちに威勢のいい大きな声が響き渡りました。
また、御神輿の活動を知ってもらおうと、随時、ソーシャルメディア（ツイッター等）を活用し、情報発信を行いながら、運行を行いました。

ハロウィンパーティ

ハロウィンでまちを盛り上げようと、八幡浜みなっとみなと交流館と共催した「ハロウィンパーティ」。商店街と八幡浜みなっとを繋げる新たな試みとして、またがるスタンプラリーを実施しました。変装した子どもや大人たちが街中に溢れ、商店街や八幡浜みなっとが賑わいました。商店街や八幡浜みなっとに親しんでもらおうというねらいがありました。

イベントへの出店

「クリスマスオレンジフェスティバル」や「北浜まつり」、「福祉のつどい」など、地域の行事へも参加。綿菓子やスタンプラリー、ゴミ分別サポートなど、様々な盛り上げに貢献しました。また、同時に地域の方々にＹＧＰの活動をしってもらい、ファンになってもらおうと取り組みました。
出し物には、メンバーの「特技」がかなりの部分で活かされています。

八幡浜みなっとイベントへの協力

八幡浜みなっとのイベントにも共催し、盛り上げに貢献しました。写真は、みなっと３周年イベント内の「春のお茶会」。八幡浜高等学校茶道部のみなさんのご協力のもと、お抹茶やお菓子の提供、大正琴の演奏なども行われました。
海を眺めながら、ホッと一息つける空間の提供に努めました。
また、かまぼこカーテンの新たな活用方法として、実績をつくることができました。

課題“解決”先進地としての取り組みを広げる

私たちが活動しているまち「八幡浜市」は、全国衰退都市ランキング第４位。
「課題先進地」から「課題解決先進地」になれるよう、活動を継続・分析し、「ＹＧＰモデル」として、全国に発信しています。

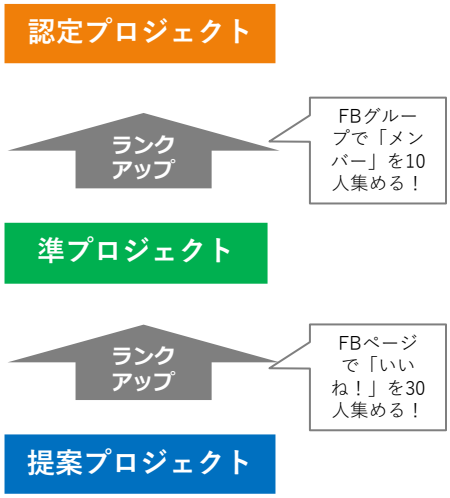
■ 講演等の実績

- 愛媛ＣＡＴＶ　八幡浜物産展　プレゼン（浜田）
- 新しい公共支援事業成果発表会　成果発表（浜田）
- えひめ協働推進フォーラム　成果発表（浜田）
- 新居浜市協働オフィス交流会2014　活動発表（浜田）
- 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会（浜田）
- ボランティアマネジメント研修（浜田）
- えひめ地域づくり研究会議フォーラム

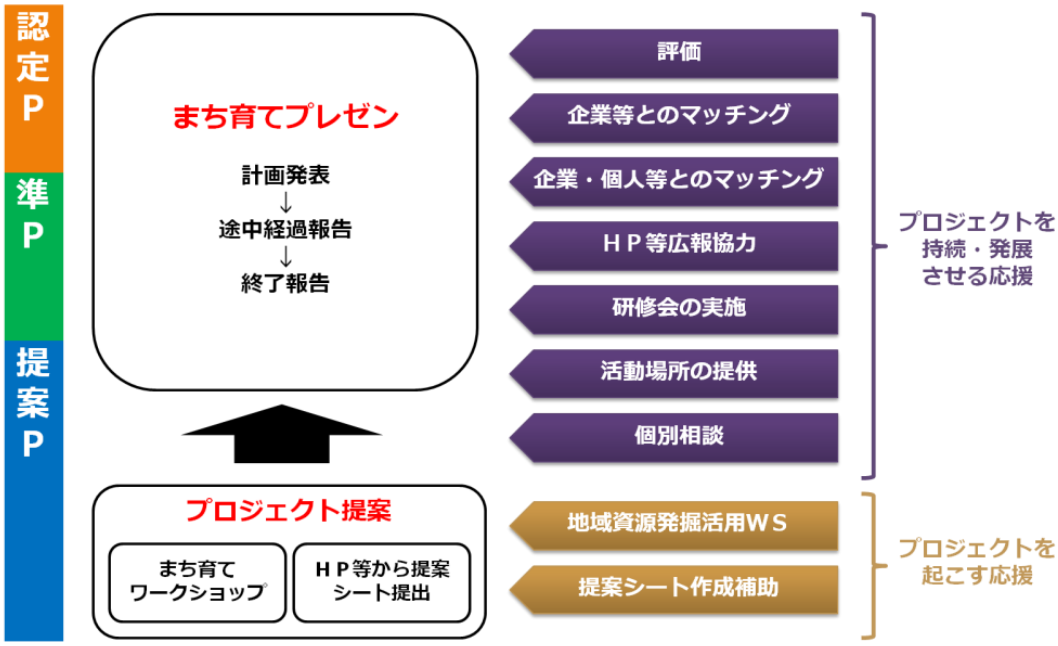
■ 委員等の委嘱実績

- 八幡浜市地域審議会委員（浜田）　→終了
- 八幡浜市ゴミ問題検討委員会委員（鈴木）　→終了
- ゆめみかん審議員（眞田井）　→終了
- 県政モニター（鈴木・眞田井）　→終了
- みなとまちづくり協議会ワーキンググループ　委員（眞田井）
- 愛媛県行政評価システム外部評価委員会　委員（眞田井）
- 八幡浜市ボランティア協議会　副会長（鈴木）
- 愛媛県ヤングボランティアセンターサポート委員会　委員（眞田井）
- みなと交流館等指定管理業務　職員派遣（市川）

プロジェクト応援制度



「八幡浜を元気にするプロジェクト」を起こしたい人向けの制度を24年6月から開始。専用のページを作り、Facebookと連携したプロジェクトランクアンプのシステムのもと、支援を行っています。また、あわせて参加者や協力者のマッチングも行っています。



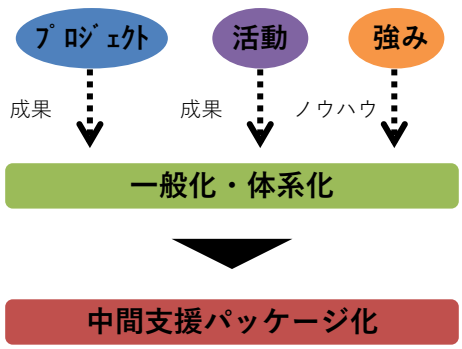
生まれたプロジェクトに対しては、様々なところと連携し、プロジェクト基準に応じた支援メニューを用意しています。さらに、「まち育てプレゼン」において、プロジェクトのＰＲや資金集めの機会を提供。
みなと交流館やえひめリソースセンター他と連携しながら、プロジェクトの育成・発展に努めています。

中間支援パッケージ

① 強みを発見する講座
② 広報力ＵＰ講座
③ プレゼン講座
④ 地域資源発掘ワークショップ
⑤ まち育てワークショップ
⑥ まち育てプレゼンテーション
⑦ ドネーションパーティ
⑧ ＮＰＯ法人会計講座
⑨ パワポで作る簡単ポスター・チラシ講座

随時、講座等を開発しています。
講座やワークショップ等の依頼はＹＧＰまでご相談ください。

日々の活動成果やメンバーの強みを活かし、中間支援パッケージを作っています。



中間支援事業で生まれたプロジェクト

Orange Santa Project

地域資源活用　サプライズ

Xmas　orangeを日本に普及させ、愛媛県南予・八幡浜のみかんを全国にアピールすることが目的。子どもや若者がもっとみかんに親しんでもらえるような企画を立案・実施。

① Orange　Santa
　クリスマスの日に子どもたちにプレゼントと　みかんを届ける
② 県内各地でみかんやみかん関連商品の販売促進を実施

かまぼこ板打瀬舟プロジェクト

住民参加　地域資源活用　サプライズ

① かまぼこ板で作った舟を浮かべることを通して、多くの人に「八幡浜」を知ってもらい、八幡浜の知名度を向上させる。
② かまぼこ板の再利用を通して、八幡浜のエコに対する取り組みをPRし推進させる。そして、「かまぼこ板リサイクル率日本一のまち！」を目指す。
③ 打瀬舟の歴史を振り返ることで、八幡浜の方々に「八幡浜の良さ」を再認識してもらう。そして、もっとふるさとを好きになってもらう。
→ 平成２５年８月４日　八幡浜市穴井地区海岸にて出航

八幡浜合宿プロジェクト

八幡浜で心と体を元気にする体験プログラムを行い、八幡浜の活性化につなげる。

① 旅行会社とコラボした観光ツアーの企画
② ダイエット合宿や勉強合宿などの企画

→プロジェクトが実施困難となり、途中で休止となった。

八幡浜お手伝いプロジェクト

住民参加　地域資源活用　企業のCSR　農家課題解決

「日本一のみかん作りのお手伝い」を通じて、農家の人手不足解消及び観光客の増加、ひいては地域経済の活性化を図る。

① お手伝いワーカーによるみかん栽培お手伝いを実施
② お手伝いの成果として八幡浜で飲食や買い物ができるクーポンを支給
③ みかん農家の方とお手伝いワーカーとの交流会の実施

■ 成果

1．まちを育てる人財の育成機会となったこと

次期プロジェクトへの参加意欲／ＹＧＰ内
部のコアメンバーへの参加意欲
出身地での活動に活用

2．地域へインパクトを与えたこと

住民が地域の良さを再発見することができた
外部のプロジェクトメンバーが住民の参加意欲を刺激

［　ワカ者・ヨソ者・バカ者　］×　地域資源　×　住民参加

これまでの軌跡とこれからの取り組み

宇和島・嵯我野の露天風呂

八幡浜を**元気**にしようや！

実際に**行動**に移そうや！

誇れる八幡浜に！

輝く八幡浜に！

原点の活動「清掃活動」

平成21年度～

協働型組織

行政・企業・他団体との協働型のプロジェクトを実施。まち全体にインパクトを与えるとともに、当団の存在感を示すことができた。

平成20年度～

住民参加型組織

住民参加型の清掃活動（クリーンプロジェクト）を皮切りに、住民参加を基本としたプロジェクトを起ち上げ。
「人の元気を、まちの元気につなげる」をスローガンに制定。

平成18年度～

自己参加型組織

地元若者が温泉で語り合ったことがきっかけで、団体創立。
身近な公園の清掃活動に取りかかる。
住民からの知名度向上につながり、外部行事への参加・協力を実施。

【事業】
① 清掃美化リサイクル事業
② 新・祭り創造事業
③ 世代間交流事業
④ 地域通貨事業
⑤ 地域活動活性化事業
⑥ 商店街活性化事業
⑦ 地産地消推進事業

【事業】
① クリーンプロジェクト（交流をメインとした市民参加型清掃）
② ドネーションプロジェクト（地域活動団体支援の機会・ツール提供）
③ スマイルプロジェクト（笑顔の素敵な人を紹介した「八幡浜笑人」発刊）
④ オーナープロジェクト（住民の名前入りサクラの木販売・植樹）
⑤ アートプロジェクト（かまぼこ板を活用し、セルフビルドで休憩所を制作）
⑥ アグリプロジェクト（柑橘生産者にスポットを当てた可視化の活動）
⑦ 青石の石垣・みかんの丘プロジェクト（住民の手で青石を積み上げ、石垣を制作、後に当市のシンボルであるみかんの苗木を植樹）

生まれたプロジェクト

現在も継続されているものは除いています。

八幡浜ドネーションプロジェクト

100円1口の寄付を集める「ドネーションパーティ」を開催。また、地域活動団体ポータルサイト「ＴＵＭＵＧＵ」も開設。

八幡浜オーナープロジェクト

名前入りのサクラの苗100本を八幡浜市民スポーツパークフラワーゾーンに植樹。毎年１回は清掃活動＆花見を実施中。

八幡浜アートプロジェクト

市民等から回収したかまぼこ板を25,000枚使用し、休憩所「かまぼこカーテン」を制作。
日本大学理工学部佐藤光彦研究室との協働により実現。

平成24年度～

中間支援型組織

これまでの経験・ネットワークを活かし、中間支援組織化。プロジェクトを起こす支援や続ける支援を通して、地域活性化に貢献することを目指す。

【事業】
① つながり事業
　プロジェクトとプロジェクト、人と人、地域と地域等を結びつける事業
② まち育て事業
　プロジェクトの支援を行うとともに、新たなプロジェクト立ち上げの支援を行う事業。

平成26年度～

ハイブリット型組織

中間支援事業だけでなく、独自のプロジェクトも起こしていく。
両事業を使い分けながら、まちの活性化に取り組む。
また、次世代の担い手を育成するための内部システムを整備。
※25年度より、みなと交流館等指定管理業務に参画。ＮＰＯ法人港まちづくり八幡浜と協働し「ｌｏｖｅ ｙａｗａｔａｈａｍａコンソーシアム」を結成した。

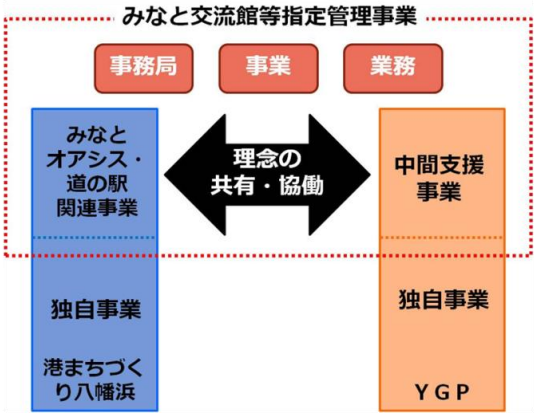
【事業】
① つながり事業
　プロジェクトとプロジェクト、人と人、地域と地域等を結びつける事業
② まち育て事業
　プロジェクトの支援を行うとともに、新たなプロジェクト立ち上げの支援を行う事業。

これから～

？？？型組織

●中間支援事業の深化
　市内外への売り込み活動
独自プロジェクトの収益化
●プロジェクトの深化
　収益意識を持ちながら、事業の柱をつくりあげる
●会員の増強
　コアとなる人材の育成
　強みを活用した登用
●寄付金・サポーターの確保
　継続的な支援者を確保
●活動の評価及びパブリックコメント活動
●認定ＮＰＯ法人格の取得
●雇用創出

love yawatahama コンソーシアム



団　体	1	2	3	4	5	共通視点	独自視点（手法の違い）
港まちづくり八幡浜	○	◎	◎	△	○	八幡浜の活性化	みなと（産業界）を通じた市全体の活性化
ＹＧＰ	◎	◎	○	△	○		地域活動（住民）を核としたまちづくり

1：中間支援業務
2：プロジェクト・イベント業務
3：観光業務
4：管理・運営（外部委託）
5：管理・運営（利用許可及び使用料の収受）

八幡浜アグリプロジェクト

地場産業である農業（柑橘）の活性化を図るため、農業者にスポットを当てた取り組み。林野庁補助事業。

青石の石垣・みかんの丘プロジェクト

住民参加により、地域資源である「青石」を利用した石垣制作を実施。
現在は、みかんの木が植樹され、市民の憩いの場として活用されている。

「媛のくちづけ」の開発

「農商工ビジネスチャレンジプラン」において、全国から１６８プラン提案があった中から、優秀賞５案に選らばれた案が実現化！

強く、
しなやかな組織
を目指して

■ 毎月１回の全体会の開催

活動予定やプロジェクト等の進捗状況の共有、交流会などを毎月行っています。
メンバーからの意見も多く出る活発な会になっています。

■ 毎月１回の理事会の開催

法人の運営に関わる重要な事項について、毎月協議しています。
メンバーから上がってきた意見や外部からの声などを集約し、意思決定をしている会になります。

■ 交流会の開催

メンバー間の親睦を深め、チームワークを醸成するため、交流会を随時開催しています。このような中からおもしろいアイデアも生まれることがあります。

■ 他団体との交流機会の創出

メンバーには、外部の刺激を受けてもらう機会を随時用意しています。
自分たちの活動が他団体に比べてどうなのか、肌で感じて動いてももらうようにしています。

■ スマイルカードの共有

理事会・全体会など、メンバーが集まる時には、最近笑顔になったこと、笑顔にしてもらったことなどを共有しています。
笑顔は私たちの大事なテーマです。

■ スマイルシートの制定

メンバーの行動指針を「スマイルシート」にまとめ、共有しています。一人一人の行動がＹＧＰを支えているという考えに立ち、メンバーの育成に力を入れています。

■ 遠隔地のメンバーを活用

松山等に住んでいる八幡浜出身のメンバーを活用し、遠隔でプロジェクトを進めています。
現地との連絡には、フェイスブックやＳｋｙｐｅを活用しています。

■ 活動のＰＲ

活動の報告については、年1回の「会報」だけではなく、フェイスブックやホームページを通じて、随時配信しています。
また、イベント参加時には、のぼりやポスター等を活用し、積極的に活動紹介及びメンバー募集活動を行っています。
法人化後、ロゴを刷新、ビブスの作成を行っており、ブランド力の強化にも努めています。

■ 評価の取り組み

自己評価として、エクセレントＮＰＯ評価基準を導入しています。
また、外部からの声を集めるため、年１回アンケート調査を行い、活動に反映させています。

■ 多様な収入源の確保

gooddo

かざして募金

収益の多角化を目指すため、寄付サイト「ｇｏｏｄｄｏ」や、多様な寄付金の受入を図る「かざして募金」やクレジットカードシステムを導入しました。
補助金は、必要に応じて申請し、受給するようにしてます。

■ 寄付をいただいている先

ORANGE BAY FOODS

■ パートナー　（過去を含め、お付き合いのある先一覧：順不同）

Yawatahama 好きです！やわたはま
八幡浜 みなと
TQ
SHARE LIFE DESIGN
愛媛でいちばん広い大学 いよココロザシ大学
S M L
八幡濱新聞
菓工房 後藤
愛媛県立八幡浜高等学校 商業研究部 A★KIND アキンド
NPO法人 新居浜 まちゅり隊
えひめSDGs Sustainable Empowerment for Ehime Drama えひめを豊かにする本気アイデアを応援
職 食 触 Ehime Child Challenge
株式会社豊予社
FAAVO 愛媛
認定特定非営利活動法人 NPO高知市民会議 Kochi
AMITA
林野庁
愛媛県
独立行政法人国立高等専門学校機構 新居浜工業高等専門学校 National Institute of Technology, Niihama College
新居浜市まちづくり協働オフィス
あさひみらい Asahi
安全・安心・便利なクレジットカード決済代行サービス Another Lane ,Inc.
gooddo
WANTEDLY
八幡浜お手伝いプロジェクト
かざして募金
四国青年 NGO HOPE
KNOCK N ROLL! キミのトビラをノックする。ココロと社会を巻き込む２日間。
Google for Nonprofits
salesforce

■ メディアでの報道

週刊 1973年創刊 阿ることなく・恐れることなく 愛媛経済レポート
alterna×S 昨日と違うスイッチを探そう。
ソトコト ソーシャル＆エコ・マガジン
八幡濱新聞
八幡濱民報
愛媛新聞

サポーター（活動・寄付）募集中！

	サポーター
対象	個人・団体
住居又は勤務	自由
議決権	なし
活動への参加の方法	労力提供（無償） 労力提供（有償） 人の紹介 物の提供 場所の提供 寄付 その他
八幡浜又はＹＧＰを愛する気持ち	必要
年会費	不要
寄付	自由（1,000円／口～）

ＹＧＰには、「**正会員**」又は「**サポーター**」として関わる方法があります。

年齢や住居地に制限はなく、「八幡浜とＹＧＰを愛する気持ち」があれば参加できます。定期的に活動のお知らせのメールをお送りします。
なお、継続寄付をいただける個人・企業の方も募集しています。詳しくは、ＹＧＰまでお問い合わせください。

活動のエンジンー支えるメンバー

市川　和人
理事　事務局長

私は現在、仕事として、南予の唯一の中間支援組織でもある「八幡浜みなっと みなと交流館」にYGPとして働かせてもらっています。
YGPがこれまで活動してきた中で感じた、自分達で活動することから、活動を始めるきっかけづくりや活動を支える応援という中間支援的な観点を、広げていくためにこれからも引き続き頑張っていきたいと思います。まだまだ至らぬ点もあるとは思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

鳥津　博義
理事　会計責任者

私は現職（公認会計士）の知識・経験を生かし、間接業務を通じて組織運営に関与させていただいております。
NPO法人の会計を考えるにあたって、忘れてはいけない事実があります。それは、ＮＰＯ法人は公の団体であり、市民の皆様の寄付で成り立っているということ。私たちはその事実を直視し、お預かりした寄付金を適切に運営できるように、会計方針の統一、決算体制の整備を進めてまいりました。来期は”クリーンな会計”を目指して、さらに詳細な会計情報を収集・開示できるよう取り組んでいきたいと考えています。来期もどうぞよろしくお願いいたします。

団体概要

私たちは、「八幡浜を元気にすること」を目的に掲げたまちづくりＮＰＯです。

１．団体の名称
（１）正式名称
　　特定非営利活動法人　八幡浜元気プロジェクト
（２）英語名称
　　Non Profit Organizations Yawatahama Genki Project
（３）略称
　　ＹＧＰ　（わいじーぴー）

２．団体の創立年月日
平成18年８月１日（宇和島の嵯峨野温泉で語り合った日）

３．法人の設立年月日
平成26年2月23日（法人登記年月日：平成26年6月19日）

４．コーポレートカラー
オレンジ色（みかん色）

５．コーポレートスローガン
人の元気を、まちの元気につなげる

６．目的
人の元気を、まちの元気につなげることを理念に、住民参加及び地域資源活用の事業を行い、市民性の向上及び社会変革を起こす人材の発掘・育成を図ることをもって、八幡浜の活性化に寄与すること

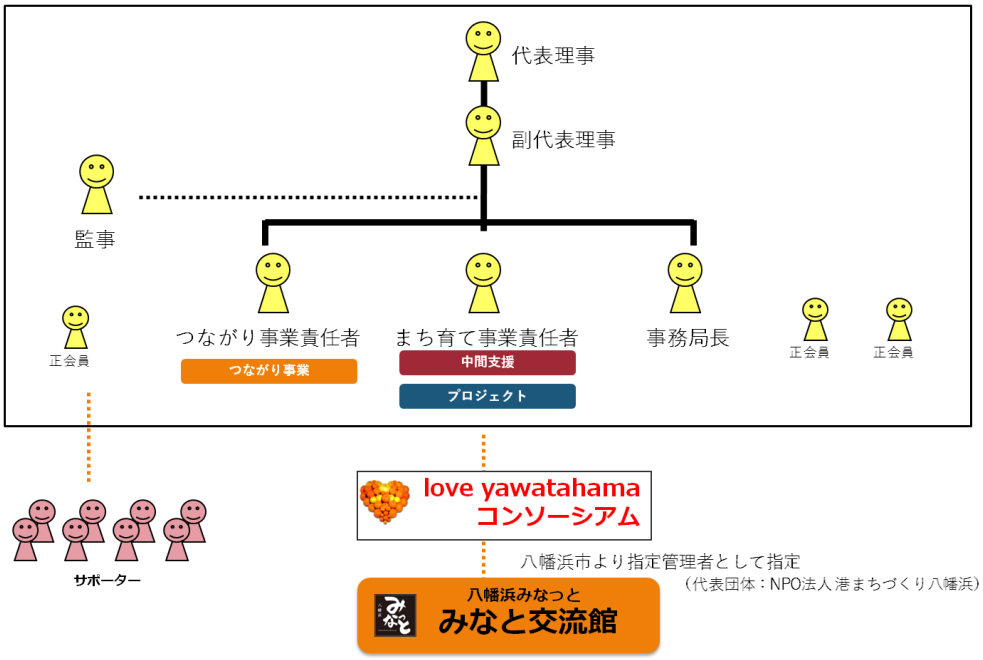
７．目標
（１）地域資源を活用した市民参加のまちづくりを継続的に支援することで、八幡浜の活性化に貢献すること。
（２）様々な主体に対して、地域活動に関わるきっかけや手段を提供することで、豊かな市民性を育む土壌をつくること。
（３）人・物・金・情報のコーディネートを通して、有機的なネットワークを構築するとともに、社会変革を起こすための人財の発掘・育成を行うこと。

８．事業
（１）つながり事業
（２）まち育て事業

９．役員

代表理事	濵田　規史	副代表理事	鈴木　磨美
理事	眞田井　良子	理事	市川　和人
理事	鳥津　博義	監事	吉川　貴士

組織図



人の元気を、まちの元気につなげる

平成27年6月20日発行

特定非営利活動法人 八幡浜元気プロジェクト

〒796-0001
愛媛県八幡浜市向灘3058
URL：http://www.re-ygp.com/
MAIL：info@re-ygp.com